

平和を考える「小中学生作文集 第29集」

編集後記

「平和を考える小中学生作文集第29集」をお届けします。本年度はこの作文集に、小学生から45点、中学生から71点、計116点の作品が寄せられました。

本年度の作品も多岐にわたり、学年を問わず、平和について正面から向き合った作品が数多く寄せられました。

ある作品では、戦争に関する本、新聞、テレビの特集番組などの様々な資料を読んだり見たりして、感じた戦争の悲惨さや無意味さを伝えようとしていました。ある作品では、戦争の痕跡が残る場所を訪ねたり、資料館にあるたくさんの資料を目にしたりして、どうすれば平和を守っていくことができるかについて考えていました。ある作品では、戦争を体験した皆さんの話を聴くことで貴重な戦争体験の話を後世へ語り継ぐ強い決意をしていました。その他にも、皆さんの作品の様々なところから、平和を大切にしなければならないという思い、平和を守るために自分たちにできることは何かと考える姿が伺えました。

私たちのふるさと沼津は、自然・歴史・文化・産業が調和した美しいまちです。沼津市が「核兵器廃絶平和都市宣言」を行ったのは、1987年のことでした。この平和都市宣言から31年がたとうとしている現在も、世界のどこかで戦争や内戦が続いたり、テロ行為が起きたりしています。全世界で目指すべき世界平和はなかなか実現しません。私たちは、同じ地球上に未だ争いの惨害を被り苦しんでいる方々が数え切れないほど存在していることに目を向け、真剣に考えなくてはなりません。

この作文集を通して、沼津市の小中学生の皆さんが平和への思いをより深め、未来へと希望をつなぎ、平和であることが当たり前の中にし続ける大人に成長してくれることを願っています。そして、沼津市が誓った「美しい地球、そして平和な生活を子々孫々まで守りぬくこと」について、責任の重さを、もう一度受けとめ直し、そのための努力を惜しまず続けていってほしいと思います。

最後に、この作文集を読んでもくださった皆様方にも心から感謝申し上げます。